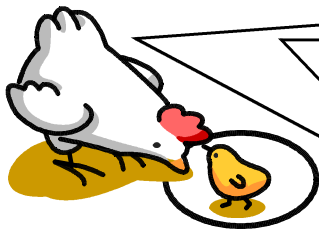


令和2年5月29日

八戸市立新井田小学校  
同 父母と教師の会



啐啄 NO.730

☎ 25-5125  
☎ 25-3150

## 6月からの教育活動について

校長 峯 明 紀

5月7日に学校が再開されて間もなく1ヶ月が経とうとしています。その間、八戸市では、コロナウィルス感染防止要注目月間として、3密を避けるため、子どもたちの学校生活を見直し、時程の変更や授業、活動の制限等に努めてまいりました。

その中でも、新任の先生方や転入してきた児童の紹介の場を設けたり、一年生を迎える会を実施するなど、実施可能な行事や教育活動は、できるだけ中止しないように工夫してきました。それでも、本来予定していたことのごく一部しか実施できていない状況です。これまで当たり前できていたことが、どれだけ学校の教育活動にとって重要なことだったか、子どもたちが元気で伸び伸びと活動できることがどれだけ幸せなことだったのかを改めて実感する2ヶ月となりました。

新型コロナウイルス感染が世界中、日本中で猛威をふるい始めた頃、右上のような「アマビエ」が話題になりました。ネットで検索したところ、「アマビエは、肥後国（現・熊本県）の夜ごとに海に光り物がおこったため、土地の役人がおもむいたところ、アマビエと名乗るものが出現し、役人に対して『当年より6ヶ年の間は諸国で豊作がつづく。しかし疫病が流行したら、私の姿を描き写した絵を人々に早々に見せよ。』と予言めたことを告げ、海の中へと帰って行ったとされる。」とありました。「アマビエ」を世に広めたのは「大蛇堂」という妖怪掛け軸専門店で、「疫病退散にご利益があるというアマビエの力を借りよう」「コロナウィルス対策としてアマビエのイラストをみんなで描こう」との発想から Twitter に投稿したところ、この考えに賛同した多くの利用者がアマビエを自己流にアレンジした作品（イラスト、漫画、動画、ぬいぐるみ、あみぐるみ、刺繍、フィギュア、スタンプ、こいのぼり、その他小物など）を次々に投稿するという動きが起こったのだそうです。このアマビエの力を借りてでも早く「元気、やる気・根気、思いやり」いっぱいの新井田小の日常を取り戻したいと思う毎日です。



さて、6月からは要注目月間も終わり、少しずつではありますが通常に戻すことのできる教育活動も増えてまいります。また、家庭での過ごし方についても、これまでの制限を解除する予定です。詳細については、5月25日配付の「6月からの教育活動について」と本日配付の「生徒指導だより」をお読みいただき周知をお願いいたします。

最後になりますが、5月24日（日）に地域のボランティアの方による、校地内の草刈り作業を行っていただきました。前日の雨に加え、当日朝の濃霧とけっして良い条件での作業ではありませんでしたが、例年以上の数のボランティアの方に集まっていただき、手早く作業を進めてくださいました。本来であれば運動会が行われるこの日に、早朝よりお集まりいただきました地域の皆様方に深く感謝を申し上げますと

ともに、秋に延期した運動会では、保護者の皆様、地域の皆様に、子どもたちの元気な姿を応援していただきたいと切に願っております。



「啐啄」（そったく）：「啐」は卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音、  
「啄」は母鶏が殻をかみ破ること。